

平成22年度地域スポーツ指導者育成推進事業 取組事例

都道府県名 富山県 受託団体名 富山県教育委員会

事業テーマ 地域住民のスポーツニーズに応じた研修プログラムの開発と生涯スポーツ指導者の育成

【テーマ設定の理由】

本県では、全市町村に総合型クラブが設置され、また、地域のスポーツ指導者の有効活用を図るため、総合型クラブを窓口「スポーツ指導者パスネットとやま」を平成20年度から運用している。

また、本年度の10月に本県で全国スポレク祭が開催されることにより、県民のスポーツへの参加意欲が高まっていることから、地域のスポーツ指導者の資質の向上や、新たな指導者の確保が急務と考えられる。

このため、指導者に必要な危機管理や応急処置などの基礎講習や実践研修を実施しながら、地域住民のスポーツニーズに応じた指導者育成プログラムを開発・普及し、指導者の確保と資質の向上を図る。本年はジュニアとシニアを対象とした指導法に関して講習会を実施した。

地域スポーツ指導者育成推進委員会

赤松 喜久
(大阪教育大学 教授)

布村 忠弘
(富山大学 教授)

池田 雅計
(パレススポーツクラブ 事務局長)

岡島 幸子
(スポーツクラブ富山 クラブマネジャー)

小林 慎一
(財団法人富山県体育協会 普及振興課長)

酒本 弘充(NPO法人新湊カモン
スポーツクラブ 事務局長兼クラブマネジャー)

白倉 香理
(富山県広域スポーツセンター専任指導者)

高田 與志美
(うおづスポラクラブマネジャー)

西川 あき子(NPO法人こすぎ総合
スポーツクラブ クラブマネジャー)

沼田 秀樹(NPO法人おやべスポーツクラブ
クラブマネジャー)

早川 真美子
(なめりCANクラブ クラブマネジャー)

廣瀬 孝作
(富山県体育指導委員協議会副会長)

室永 美穂(NPO法人SEIBUスポーツクラブ
事務局長兼クラブマネジャー)

山地 延佳((財)富山県健康スポーツ財団
富山県総合体育センター指導課課長補佐)

弓部 裕明
(富山県生涯スポーツ協議会副理事長)

再委託先団体名 財団法人 富山県体育協会

【受託団体概要】

・設立年月日 平成 3年 11月 5日 設立

・所在地 富山県富山市五福5区1942 アオイスポーツハウス内

・特色 当協会は、競技スポーツ振興の中核として、各競技団体、郡市体育協会、中学校・高等学校 体育連盟との連携を図りながら、国民体育大会や県民体育大会をはじめとする各種競技大会の開催、優秀な選手の育成強化、国際交流事業の推進などに努めている。

・平成22年度総予算額 827,962,000 円

協カクラブ

- 富山県体育協会(広域スポーツセンター)
- KUROBEスポーツファミリー
- うおづスポラ
- なめりCANクラブ
- 上市町総合スポーツクラブさんさん
- パレススポーツクラブ
- スポーツクラブ富山
- NPO法人やつおスポーツクラブ
- NPO法人遊・Uクラブ
- NPO法人SEIBUスポーツクラブ

【上記機関・団体と連携をとった効果】

県体協(広域スポーツセンター)を通し、各総合型クラブに本事業の協力(受講者の推薦、実践講習会の実施など)依頼をしたことで、以下の効果があった。

- ・広域スポーツセンター、クラブ、指導者のネットワークの緊密化
- ・総合型クラブの事業(開催教室)を活用した指導者育成(実践講習会)の実施

①地域スポーツ指導者育成推進委員会

◆実施概要

- 第1回推進委員会
期日:平成22年6月2日(水)
場所:県民会館503号室
内容:平成22年度事業計画(案)について
平成22年度スポーツ指導者育成講習会実施要項(案)について
実践講習会について
- 第2回推進委員会
期日:平成22年11月10日(水)
場所:県民会館706号室
内容:平成22年度スポーツ指導者養成講習会について
アンケート結果について
事業報告書の作成について
- 第3回推進委員会
期日:平成22年12月22日(水)
場所:県民会館612号室
内容:平成22年度事業報告について
指導者養成テキストについて

◆活動の様子



◆評価

本年度の事業実施に向け講習科目の確認を行うとともに、総合型クラブで実施する実践講習会の効果的な実施方法について検討した。

指導者の発掘については、開催要項の配布のみではなく、各総合型クラブの運営スタッフや、教室参加者(常連)に声をかけることも並行して行っていくことが必要ではないかという意見があった。

当事業の継続的な取り組みについても研修会の開催、指導者派遣等をおこない、指導者育成に取り組んでいくことが必要ではないかと共通認識が図られた。

◆部会のねらい

クラブ指導者研修会の資料として活用してもらうテキストの作成

◆実施概要

●指導者養成テキスト検討会

期日:平成22年11月10日(水) ※第2回推進委員会と兼ねる。

場所:富山県民会館706号室

内容:指導者養成テキストの内容についてなど

●指導者養成テキストワーキンググループ会議

第1回 期日:平成22年9月28日(火)

場所:富山県体育協会

内容 ・テキストの項立てについて

・内容について

・執筆者について

・テキストの名称について

第2回 期日:平成22年12月3日(金)

場所:富山県体育協会

内容 ・内容の確認

・テキストの名称について(決定)

「地域スポーツ指導者へのステップ！」

・テキストの活用法について

◆活動の様子



◆評価

前年度作成したテキスト「地域スポーツ指導者へのステップ！」に関して、本年度、講習会で実施した「スポーツと栄養」に関する内容をテキストに盛り込むこととした。

クラブでの指導者研修会等で資料として活用してもらえるよう全クラブに配布し、より広い範囲で活用してもらえるようデータ化の検討もおこなった。

基礎講習会

◆講習会のねらい

スポーツ指導者として、身につけてほしい基本的な知識・技術の習得を図る。

◆実施概要

- 第1回 平成22年7月4日(日) 富山市体育文化センター 受講者38名
●総論 赤松 喜久(大阪教育大学 教授)
●スポーツ現場の応急処置 前坂 宣明(富山県アスレチックトレーナー協会)
(RICE法、テーピング等)
- 第2回 平成22年7月10日(土) 富山市体育文化センター 受講者36名
●スポーツ活動におけるケガ・病気 山上 亨
(富山赤十字病院リハビリテーション科部長)
●ジュニア・シニア対象スポーツ指導(実技)
(株)河合楽器製作所体育事業部
間瀬 秀幸(体育研究室 副室長)
青木 倫(健康増進推進室 室長)
- 第3回 平成22年7月24日(土) 富山市体育文化センター 受講者36名
●事業の進め方 長岡 雅美(武庫川女子大学 准教授)
●スポーツ現場の応急処置 富山消防署 救急救命士
(心肺蘇生法、AED講習会)
- 第4回 平成22年8月1日(日) 富山県総合体育センター 受講者39名
●スポーツと栄養 桑守 豊美(富山短期大学 教授)
●リスクマネジメント 谷塚 哲(REGISTA LLP)
●スポーツ心理とコミュニケーション 清水 隆一(キャリアパーコーチングカレッジ)

◆活動の様子



◆評価

講習内容に「スポーツ栄養」を新たに取り入れた結果、特にジュニアを対象に指導している受講者には関心の高い内容に感じた。新情報に加え、再確認する講義もあり他団体との情報交換もできる機会となっていた。

テーマ講習会

◆講習会のねらい

ジュニア・シニアを対象としたスポーツ指導に関する知識の習得

◆実施概要

第1回 平成22年7月4日(日) 富山市体育文化センター 受講者36名
●シニア期のスポーツ指導 泉 一郎
(富山国際健康プラザ 健康運動指導士・医学博士)

第2回 平成22年7月10日(土) 富山市体育文化センター 受講者40名
●ジュニア期のスポーツ指導 布村 忠弘(富山大学 教授)
●ジュニア・シニア対象のスポーツ指導(実技)
河合楽器製作所体育事業部
青木 倫(健康増進推進室長 室長)
間湊 秀幸(体育研究室 副室長)

◆活動の様子



◆評価

ジュニアとシニアについてそれぞれの体の仕組みの特徴も併せて、からだの動かし方やトレーニング法について講習が行われた。指導上の注意点、効果的な指導法などは、指導現場でそのまま活用できるもので受講者の積極的な様子が見られた。

その他の取組

【実践講習会】

全体講習会(基礎・テーマ・実技)を修了した受講者を対象に、実際に総合型クラブの協力を得て、受講者が指導現場を体験できる実践講習会を実施した。

座学のみではなく、総合型クラブで開催されている教室に参加し、人の前に立ち、講師の指導のもと実技を行うものである。今年度は、9クラブ12教室で実施した。

ジュニア

- ・ジュニアアスレチッククラブ
- ・体操ジュニア
- ・わんぱくA
- ・わんぱくB

シニア

- ・元気湧くわく教室
- ・要介護予防運動
- ・ノルディックウォーキングとにこにこ貯筋体操
- ・チームマイナス33
- ・楽々スポーツ
- ・中高年ヘルシースポーツ
- ・遊悠元気塾
- ・SEIBU de ウォーキング

実際に行われているスポーツ教室で、教室参加者の前に立ち、説明しながら体を動かすことや相手に理解してもらうことの難しさを含めて「指導」を実践できたことは貴重な体験と思われる。

しかしながら、受講料を取って開催されている教室への参加であることから、クラブと指導者の事前打ち合わせ、及び参加者の理解が必要である。

【地域スポーツクラブ・指導者養成研修会】

日 時:平成22年12月5日(日)9時～15時

場 所:射水市小杉体育館

参加数:127名

趣 旨:指導対象者に見合った現場での指導法について実際に体験し理解を深める。

内 容:実技「ジュニア期の運動指導」「シニア期の運動指導」

本事業の成果

全体講習(基礎・テーマ・実技)	申込者数 57名	修了者 23名
	※講習会(全4回)延べ受講者数	207名
実践講習会	申込者数 14名	修了者 14名

本事業の成果としては、広域スポーツセンター、総合型クラブ、指導者が事業に関わることによって3者の連携が図られたこと、総合型クラブが運営スタッフを指導者に養成したこと、総合型クラブ自らが指導者育成に関心を持って取り組むようになったことがあげられる。

また、本事業の特徴である『実践講習会』は、受講者が指導体験をするもので、受講者本人の経験値を上げるのみならず、クラブ自らが指導者育成に関心を持つようになったことは成果である。

実際に、講習受講修了者の中から総合型クラブでの一教室を担当する方がでた。

本事業の課題と今後の取組

総合型クラブの協力を得て、指導実習ができる「実践講習会」を実施したが、クラブ側からは「どのような目的で受講生を受け入れてよいのかわからなかった」という意見があり、指導内容を明確に示すとともに、クラブマネージャー、指導者、受講者で目的、活動内容について十分共通理解を図り、講習を進めることが必要であったと思われる。

本事業で、作成したプログラムをどのように定着させ、指導者の育成が総合型クラブで独自に行われるようにすることが今後の課題である。

今後の取り組みとしては、各種団体が実施している研修会・講習会の情報を広く県民に提供するとともに、総合型クラブが独自に実施する指導者育成研修会を支援していきたい。